

大福研発第479号
平成31年2月22日

各 位

大分県社会福祉介護研修センター所長
(公 印 省 略)

2019年度摂食・嚥下セミナーの開催について（通知）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、当研修センターの研修事業の推進にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、社会の高齢化が進むにつれて、摂食・嚥下、つまり口から食べることへの関心は高くなっており、摂食・嚥下に関して有効な支援を受けながらできるだけ自立した生活が続けられる地域づくりが求められています。

つきましては、摂食・嚥下について専門知識を有する人材の育成を目的に、「摂食・嚥下セミナー」を別紙要綱により開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【 問い合わせ 】

大分県社会福祉介護研修センター
介護研修・総合相談部 河野（こうの）
TEL : 097-552-6888
FAX : 097-552-6868

2019年度 摂食・嚥下セミナー 開催要綱

- 1 目的 「食」に関する何らかの問題を抱えている利用者に対して摂食・嚥下機能の専門的知識・技術を習得するとともに、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成することを目的とする。
- 2 開催期日
1日目 5月24日(金) 9:30~16:30
2日目 6月27日(木) 9:30~16:10
3日目 7月21日(日) 9:30~16:40
4日目 7月31日(水) 9:00~16:00
5日目 8月21日(水) 9:00~16:00
- 3 主催 大分県社会福祉協議会 大分県社会福祉介護研修センター
共催 おおいた「食」のリハビリテーション研究会
- 4 会場 大分県社会福祉介護研修センター
- 5 対象者 「食」に携わる医療、介護、福祉職の方、摂食・嚥下等に興味のある方(介護福祉士、訪問介護員、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員、介護支援専門員等)
- 6 受講料 28,000円 (テキスト、資料代、実習費等込)
※受講決定通知後、指定日までに振込んでいただきます。
- 7 研修課程 別紙日程表参照
- 8 定員 50名(先着順で、定員になり次第締め切ります。)
- 9 申込方法 (1) 別紙の申込用紙に必要記載事項を記入し、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
(2) 申込後、順次受講決定通知を郵送いたします。
(3) 申込後1週間を目安に、申込者宛に受講決定通知を郵送いたします。同封している振込用紙にて、2週間以内に受講料の振込をしてください。(振込手数料は各自負担)
- 10 申込締切 2019年5月4日(土) 必着

1 1 その他

- (1) 全課程修了者には、修了証を交付します。
- (2) 昼食は各自でご用意願います。なお、研修日は会場で弁当（500円）の予約を受け付けていますので、ご希望の方はお申し込みください。
- (3) 研修会場周辺の坂道や信号機のない交差点において交通事故が多発しておりますので、交差点での一旦停止や左右の安全確認を徹底してください。
- (4) 自然災害により、研修の開催が困難であると判断した場合は、急遽日程変更などの対応をとる場合があります。
その際は、等研修センターのホームページによりお知らせします。
- (5) 研修会場は、空調管理に努めていますが、体感温度には個人差がありますので、温度調節のできる服装でお越しください。
- (6) 参加者に関する個人情報、参加者名簿の作成等、研修事業関連の目的で使用し、他の目的で使用することはありません。

1 2 問い合わせ 申込先

〒870-0161

大分県大分市明野東3丁目4番1号

大分県社会福祉介護研修センター

介護研修・総合相談部 河野（こうの）

TEL 097-552-6888

FAX 097-552-6868

2019年度 摂食・嚥下セミナー 日程

	月 日	時 間	講 義 名
1日目	5月24日(金)	9:30～9:50	開講式
		9:50～10:20	摂食・嚥下セミナーについて
		10:30～12:00	摂食・嚥下障害への対応と支援 口から食べることの意義～食リハ的視点から～
		13:00～16:30	摂食・嚥下障害概説 ～嚥下のめかにずむ・スクリーニング～
2日目	6月27日(木)	9:30～11:30	経口摂取確立のための呼吸・姿勢・摂食へのアシスト
		12:30～14:00	摂食・嚥下リハビリテーションⅠ ～間接・直接訓練の実際～
		14:10～16:10	エンド・オブ・ライフケアにおける食支援 ～最後まで口から食べたい願いをかなえる看護～
3日目	7月21日(日)	9:30～11:30	食べるよろこびを支援する食事の介助
		12:30～14:00	口腔について ～口腔内評価と歯科的アプローチ～
		14:10～16:40	摂食・嚥下リハビリテーションⅡ ～口腔ケア実際～
4日目	7月31日(水)	9:00～11:30	栄養管理について
		11:30～12:00	業者説明(食品関係)
		13:00～16:00	認知症・高次脳機能障害者の食事支援 次回の事例の説明
5日目	8月21日(水)	9:00～11:30	事例検討
		12:30～15:30	実践事例報告(前年度セミナー修了者) 事例報告
		15:30～16:00	修了式

※カリキュラムの内容と順番については、変更の可能性がありますのでご了承ください。

※昼食休憩及び講義の休憩について、適宜とる予定にしております。



「摂食・嚥下セミナー」ってどんなことを学ぶの??



1日目

5月24日(金)

**摂食嚥下障害への対応と支援 口から食べることの意義
～食リハ的視点から～ (衛藤宏氏)**

なぜ、「食」のリハビリテーションなのか?これから始まるセミナーに必要な基本知識を網羅した総論的講義です。

**摂食・嚥下障害概説～嚥下のめかにすむ・スクリーニング～
(森淳一氏)**

口から食べられないことの本当の問題を提示しながら、動画や図で摂食嚥下のしくみを説明します。

なぜ食べられないのか、食べないのかを評価で確認するための一般的な方法を、実技を交えながら学びます。

3日目

7月21日(日)

食べる喜びを支援する食事の介助 (藤花由美子氏)

あなたは、どんな時に食べる喜びを感じますか?食事の介助で「その人の手になる」ということは・・・?

口腔について～口腔内評価と歯科的アプローチ～ (大分県歯科医師会)

口腔疾患とその対応。嚥下障害の評価、嚥下障害・誤嚥性肺炎の既往のある要介護者へ、予防の観点から口腔ケアについて学びます。

摂食・嚥下リハビリテーションⅡ 口腔ケア実際 (大分県歯科衛生士会)

口腔ケアの本質はなんなのかを概説し、実習を通して疑問や次の日から実践出来るように一緒に考え学びます。

2日目

6月27日(木)

経口摂取確立のための呼吸・姿勢・摂食へのアシスト

(梅野裕昭氏・浅倉秀剛氏)

安全な経口摂取・不顕性誤嚥の予防のために、現場でできるポジショニングについて、実技を交えながらお伝えします。また、嚥下に必要な呼吸機能の基礎知識や食事の自立度を高める便利な道具もご紹介いたします。

摂食・嚥下リハビリテーションⅠ 間接・直接訓練の実際 (山本周平氏)

口から安全においしく食べる支援に向けて、明日から使える摂食嚥下訓練を習得しよう!!

エンド・オブ・ライフにおける食支援について (事例での考察)

(木本ちはる氏)

人生の最終段階において、「その人らしさ」とは?自分だったら・家族だったらどうか…「その人の希望する療養場所で、可能な限り美味しく食べる」支援について、実際の事例を通し一緒に考えてみませんか?



4日目

7月31日(水)

栄養管理について (曾我優子氏)

『食べることは生きること』最期まで『美味しく食べる』にこだわって、元気と笑顔を実現しよう!

認知症・高次脳機能障害者の食事支援 (森淳一氏)

この障害を持つ人が、どのように食べるのか、食品を認識しているのかを学び、具体的な対応を一緒に考えます。

5日目

8月21日(水)

事例検討・事例報告

提示された症例をグループで、予後・目標・訓練内容などを検討します。ディスカッションを通して実践力を身につけよう!



みんなで
一緒に
Let's think!

